



第497号 令和元年12月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

第50回全国学校保健・学校医大会

会 長 林 鐘 声

11月23日、上記のために行楽日和の京都を朝一番の新幹線で後にして、冷たい雨と風に見舞われたさいたま市に向きました。京都府からは京都市学校医会の9人の他、府医理事の松田先生、眼科の柏井先生が参加しました。

朝の一般演題には全国各地からの研究発表は内科系26題、耳鼻咽喉科8題、眼科15題が5分科会に分かれて行われました。分科会の内容は別に伝えて頂きますが、京都府からの2題はいずれも京都市学校医会からの報告でした。安野哲也先生の「アナフィラキシーとして救急搬送された京都市学校児童生徒の解析」では、京都市教育委員会が救急搬送された事例を聞き取り調査した記録のうちの平成25年度から29年度分を、アレルギー専門医がアナフィラキシーとして救急搬送された児童生徒30件(27名)を抽出して分析した結果の発表でした。30件中9件はエピペン使用して搬送されていました。30件中7件は食物アレルギーの既往は無く、21件は原因が特定できていないなど、予期せぬアナフィラキシーが多く、学校現場でのアナフィラキシー対応としてエピペン講習だけでなく一般的救急救命処置の習得が重要と指摘するとともに、教育委員会による聞き取りの際にはアナフィラキシーの原因把握のために救急受診後の医療機関における対応結果も加える必要があるとしていました。もう一つは、私が報告した「脊柱検査時の上半身脱衣の対応－政令指定都市教育委員会へのアンケート結果－」です。政令指定都市20市中4市が上半身脱衣で対応していること、京都府医師会からの質問に答えて文部科学省は「脊柱検査は上半身裸です」との見解であることを伝えること

を主眼としました。政令指定都市の約半数は学校・担当医師に任せるとしていましたが、その場合、校長による生徒や保護者への配慮の結果、上半身脱衣の実施率が低いであろうことは同じ対応で臨んでいる京都府下の調査から推測できることでした。一方で、教育委員会が独自に学校へ上半身脱衣の指示し実施している政令指定都市が一つあり、まさに教育委員会主導で進めた貴重な事例と考えられました。

昼に行われた開会式で今大会の主題は「多様化する社会と子供の成長～これからの学校医の役割～」であることが示されました。日本学校保健会会長でもある横倉義武日本医師会会長の「子ども達が自らの生きる力を育むには、児童生徒に対する健康教育が欠かせず、人生100年時代を見据え、望ましい生活習慣を子供の頃から身につける必要がある」との挨拶の後、「現代の子どもが抱える諸問題について」のシンポジウム、新しく一万円の肖像となる埼玉県深谷市出身の渋沢栄一氏の足跡をたどる特別講演と続きました。他に、日本医師会が学校医宣言を出すとの特別発表もありました。前回大会をもって全国都道府県を一巡した上に前回会長からの要望が示されるとともに、「家庭や学校を中心に地域保健の枠組みの中で、医師会や医療機関などが連携を強化した組織・体制で学校保健を考えることが不可欠」との状況判断も加わり宣言に踏み切ったようです。家庭力・地域力が低下している中で学校医が頑張れよという事なのでしょうか。近い内に正式に公表される予定と聞きました。

次回大会は令和2年11月14日に富山県医師会主催で行われます。

第48回 京都市小学生陸上競技記録会 第39回 京都市小学生持久走記録会

児童の健全育成、体力向上を目指し10月22日（火：即位礼正殿の儀の日）西京極総合運動公園にて行なわれました。林 鐘声先生と医務室出務しましたので報告します。台風20号の影響で開催が危ぶまれましたが、当日は秋晴れの暖かい1日でした。小学校6年生が出場対象で、今日のために練習を積んだ児童、教員と応援する父兄・兄弟の熱気であふれていました。

☆陸上競技会

100m走～876人（男：436，女：440）
50mハードル～120人（男：68，女：52）
ソフトボール投げ～233人（男：170，女：63）
走り幅跳び～121人（男：76，女：45）
走り高跳び～47人（男：29，女：18）
400mリレー～262（291）チーム
（男：148，女：114）

☆持久走記録会（1500m）：967人（男：564，女：403）

100m走は平成28年：1123人，29年台風で中止の影響から30年：746人と著減しましたが今回876人に回復。持久走は昨年812人から967人へ増加。参加

西京高等学校学校医 杉本英造

者の中には「大文字駅伝」を目指す児童も多くこの効果でしょうか？

医務室へは、17名～擦過症・挫傷：5，捻挫：3，膝じん帯損傷：1，嘔吐：3，過呼吸：2，頭痛：1，食物アレルギー：1，刺虫症：1が来室しました。私は持久走班でしたが、外傷より過呼吸，嘔吐が多かったのが印象に残りました。過度の緊張が影響したのか，2名は迎えに来た教員が過去にも既往があるとのこと。嘔吐に対しては，薬はありませんので東洋医学的に手：合谷・神門，背部：心愈・胃愈等を指圧しながら精神的安定を計りました。

蜂刺虫症は，アナフィラキシー反応なく，患部を冷やし経過観察指示し，2時間後のリレー競技に出場できました。アレルギーはリンゴを食べてから臉が腫れたとのこととで重篤でないので経過観察。医務室にはAEDは準備してありますが，エピペンはなく今後の課題となりました。捻挫も競技中より，グラウンド外や競技終了後などが多く油断禁物。競技は6時間休みなしで行われ，多くの関係者の協力でも無事終えることができました。

ラグビーフットボールの試合に行ってきました

令和元年10月19日（土）午前10時試合開始の京都市中学校選手権総合体育大会ラグビーフットボール夏期大会に宝ヶ池球技場に行ってきました。

当日は準決勝の大会です。本当は，12日（土）に行なわれる予定でしたが，台風の為中止，順延との事でしたが13日（日）も中止。一週間ずれて行なわれました。

第一試合（小雨の中）は，西陵中学校と西京極中学校，第二試合（本降りの雨の中）は，藤森中学校と伏見中学校です。一試合20分ハーフで行なわれました。

結果は，

福西小学校医 奥村正治

	西陵 ⇄ 西京極	藤森 ⇄ 伏見
前半	19	14
後半	5	10
	24	24
		64
		0

第一試合は，試合終了1分前に西京極のトライがあり，同点になり，ゴールなれば2点加点点で西京極中学の勝ちになるところでしたが，ホールは大きくゴールから離れ，ノーサイドとなり，中学校ルールにより抽選になり，西陵の勝ちとなりました。

医務の方は，すべりやすい雨の中でしたが，左大腿部の打撲一例でした。冷シップ指示し，終了です。

決勝は1週間後の10月27日（日）午後9：00より同球技場で...と聞きました。

第50回 全国学校保健・学校医大会 第1分科会

養徳小学校医 川 勝 秀 一

第1分科会に参加しました。今年は学校検尿の話
題が多く、9演題中6演題が学校検尿に関するもの
でした。姫路市からは学校検尿の陽性率のみならず
3次医療機関で腎生検を施行した34例の組織診断の
結果が報告されました。IgA腎炎が12例と最も多か
ったものの、多くの組織型が含まれていました。やは
りIgA腎炎が減ってきているのではないかとの印象
を強くさせる結果でした。IgA腎炎の学校検尿発見
例と非検尿群の比較ではいずれの群も治療成績は良
好でした。三次医療機関が単1であると発見例のそ
の後の経過追跡がうまくいくと思えました。岐阜県
からは「岐阜県方式学校検尿システム15年の成果と、
2次検尿への定量尿蛋白クレアチニン比の導入」が
発表されました。蛋白クレアチニン比を導入すると
それまで陰性とされていたものが陽性と判定できる、
といった内容で精度高く腎疾患を発見できるかどう
かの考察までには至っていませんでした。広島から
の報告は、県内での検尿が自治体ごとに異なった方
法で行われていることが明らかになったので、広島
県医師会学校腎臓検診マニュアルを作成し、浸透に
勤めているというものでした。愛知県からは愛知県

学校検尿マニュアルを作成し、小児腎臓病専門施設
に紹介する基準を設け、それを満たす症例のまとめ
を発表されました。2017年と2018年で54例の報告が
あり、内訳はやはりIgA腎炎が12例と一番多かった
ものの、その他多彩な診断がなされていました。今
後は予後調査に取り組む予定とのことでした。群馬
県からは学校検尿二次検診マニュアルを作成したと
の報告がありました。注目すべき点は検尿システム
を「A」方式に移行することを目標にすることと直
接3次検尿を導入したことで、京都ではまだ行えて
いない改変です。埼玉県からは尿糖陽性者について
の報告がありました。やはり糖尿病の発見例は多く、
早朝尿ではなく食後尿への移行が検討されていま
した。検尿以外では三重県から5歳児健診導入の経験
が、徳島県からは医師会と教育委員会の学校保健に
関する包括的協定書締結の経験が報告されました。
また大阪府からは学校心臓検診の実態と突然死・心
肺蘇生の予後が報告されました。2010年以降学校管
理下での心肺蘇生事例の92%が後遺症なく生存され
ていました。

第50回全国学校保健・学校医大会 第2分科会

於：2019年11月23日 埼玉県 大宮ソニックシティ

西京高等学校医 杉 本 英 造

1. 子どもたちの力で、地域はもっとつながりあえる
～『まちっこプロジェクト』～ 千葉県医師会
医師会、教育委員会連携で、小学5年・中学2
年対象に授業「命の尊さ」：がんの基本知識、治
療、ACPについて 「認知症」：基礎知識と認
知症者との共生について
2. より良い睡眠のあり方 愛知県医師会
幼稚園児から就寝時間が遅くなる傾向にあり、
スマホ・IT機器使用時間と関連
3. がん教育の矛盾点～B型肝炎ワクチンとHPVワ
クチンから考える～ 埼玉県医師会
がん教育は実施されているが、性感染症からみ

- た予防できる癌の情報不足について
4. 神奈川県医師会公衆衛生委員会モデル事業
中学2年生を対象としたピロリ菌検診と除菌治療
(3郡市3年間1212例における考察)
神奈川県医師会
20歳代で除菌しても未分化癌発生やピロリ菌感
染者の10歳後半で内視鏡的に前癌状態がみられる
ので早い時期の除菌が望まれる
5. 10代痔瘻患者に置けるクローン病に関する検討
熊本県医師会
過敏性腸症候群のなかにクローン病が発見され、
若年者の痔瘻には注意

6. 思春期過敏性腸症候群 熊本県医師会
IBSは16～18歳の女子に多く、小・中学生の不登校原因となっている
7. 秋田県のご食物アレルギー対応の現状と今後の対策 秋田県医師会
無症候なのに血液検査を求められる、親の認識に差があり指導困難、かかりつけ医の対応・考え方の違い、エピペン使用などの問題点
8. アナフィラキシーとして救急搬送された京都市学校児童生徒の解析 京都府医師会
安野哲也理事の発表：25～29年度に30件救急搬送され、9件エピペン使用。想定された誤食は9件で、21件は原因特定できなかった。皮疹のみの

1例を除き、二臓器以上の全身症状を呈し、呼吸困難、意識障害例もあった。給食の誤配はなく、学校生活管理指導表が機能しているが、修学旅行、学外活動、予期せぬ食品への暴露対策が必要。

9. 埼玉県の学校給食における食物アレルギーの取り組み 浦和医師会
アレルギーとなる食物は、卵とピーナッツが多い。学校生活管理指導表で平成27年と30年を比較すると、食物負荷試験の記載が13.0→19.0%と増加し、検査陽性は29.4→13.5%と減少。負荷試験により不必要な食事制限を解除し生活向上が期待できる。

第 6 回 常任理事会

令和元年12月7日 於 事務局

出席者 林会長、井本・杉本副会長、山内専務理事、川勝理事、嶋元眼科学校医会理事、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村議長、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 次世代はぐくみプロジェクト事業「思春期保健対策ネットワーク会議」 11/11 欠席
2. 精神衛生研究会 11/14 新しい参加者あり
3. 京都府予防接種研修会 11/14
今までに見たことのない感染症について
4. 京都市学校保健会 表彰式・研究発表会 11/16
於：TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター
京都市学校保健関係者表彰祝賀会・懇親会 11/16 於：からすま京都ホテル
5. 色覚相談 11/19 1名、 11/26 1名
6. 全国学校保健・研究大会 11/21～11/22
於：埼玉県さいたま市
第50回全国学校保健・学校医大会 11/23
於：埼玉県さいたま市 発表 林先生、安野先生
7. ツベルクリン反応検査・下半期
接種 12/3, 判定 12/5
於：京都市教育委員会 体育健康教育室 長村先生
8. A小学校での水痘集団発生 2,3年生 30数名
9. その他

<協議事項>

1. 運動器検診に関連する整形外科の出番について 12/19
ストレッチ運動のDVDを作る。どう使うか？
運動部へ啓蒙
専門医受診になった子のフォロー：学校に向いて指導する
整形外科医が学校で運動器健診をする…
2. 第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会
出務医について 来月までに決定
3. 新任校医研修会について 3/19 14:00～
4. 第71回指定都市学校保健協議会 学校医研修会
アンケートについて
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 第34回京都市小学校「大文字駅伝」大会
事前健康診断 12/7, 12/14 林先生
2. 色覚相談 12/10 2名
3. ツベルクリン反応検査・下半期
接種 12/11, 判定 12/13
於：京都市総合教育センター 奥村先生
4. 精神衛生研究会 12/12
5. 文部科学大臣表彰 祝賀会兼懇親会 12/19
於：レストランノアノア 林先生、奥村先生
6. 第8回常任理事会兼新年会 1/11
於：グルマン橋
7. その他